



Pandora FMS 6.0 SP2

リリースノート

新機能

- Windows での Pandora FMS の実行を大幅に最適化しました。いくつかの部分では、パフォーマンスが 108% 向上しています。
- [Docker Hub](#) に Docker ファイルを公開しました。コマンドライン一つで Pandora FMS を立ち上げることができます。
- グラフにおける新たな閾値の表現: 線で区切るのではなく、"警告" および "障害" の領域を新たに表現するようになりました。
- エージェントの XML に複数の "alert_template" タグを設定できるようになりました。モジュール作成時に複数のアラートを割り当てることができます。

以前のバージョンからの変更点

- 低速なインターネット接続環境におけるログイン速度を改善しました。
- GIS のダッシュボードインタフェースを、バージョン 6 によりマッチするように改善しました。
- ポリシーにおけるグループフィルタで、グループ内の親子関係を考慮するようになりました。
- クローズされない接続が残らないよう、Tentacle サーバをタイムアウトするようになりました。
- エージェントが無効の場合は、SNMP トラップ転送が動作しないようにしました。
- "Cron ジョブ" のダッシュボードフォームを、編集や削除ができないように修正しました。



バグ修正

- グループ表示で、エージェントとモジュール数の情報が正しく表示されない問題を修正しました。
- SLA レポートの計算を修正しました。‘動作時間’は計算に含まれます。
- 管理者以外のユーザによるポリシー検索のパフォーマンスを最適化しました。
- 管理者以外のユーザが、リードオンリー権限でレポートテンプレートを作成したときに発生する内部エラーを修正しました。
- 動作していなかった cron モジュールの実行を修正しました。
- pandora_db データベースメンテナンススクリプト実行時のパフォーマンスを改善しました。
- Windows エージェントでのインベントリデータ収集を修正しました。
- カスタムディレクトリへのエージェントのインストールを修正しました。
- 特定の条件下で不必要なリトライが発生していた、サテライトサーバからの SNMP 監視を改善しました。
- 制限 ACL を使っている場合の複数の修正とパフォーマンスの最適化をしました。
- Tentacle サーバで終了した接続のスレッドが残り続ける問題を修正しました。
- ネットワークマップで、OS の定義が無いノードが正しく表示されない問題を修正しました。
- Windows 上で Pandora FMS の MIB の参照先を修正しました。
- アップデートマネージャにオフラインパッケージをアップロードした場合の、パッケージバージョンを修正しました。
- “Cron ジョブ” のダッシュボードフォームを、編集や削除ができないように修正しました。
- ActiveDirectory フォームを修正し、自動同期オプションを無効にしました。
- ダッシュボードにおけるシンプルグラフ表示を修正しました。
- 高可用性環境におけるサテライトサーバの修正をしました。
- CLI で統合モジュールを作成する場合の問題を修正しました。
- Pandora FMS エージェントでさまざまな修正をしました。CentOS 2.x での PID 検出の改善、%postrun 実行と、Windows 向けインストールにおけるマイナーな修正。



アップデート方法

既存のシステムのバックアップ

アップデートの前に、既存の Pandora FMS システムをバックアップします。

ファイルやデータをアップデート前の状態に戻せるように、外部バックアップ、ファイルシステムのスナップショットなどを利用します。

Pandora FMS のバックアップに関する詳細は、オンラインドキュメントの [バックアップ手順](#) を参照してください。

アップデート手順

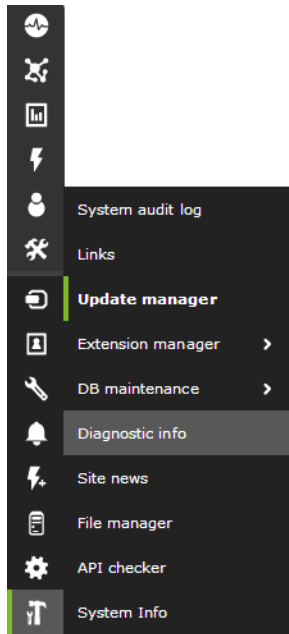
ここでは、**Pandora FMS アプライアンス 6.0** を **6.0 SP2** へアップデートする手順を説明します。それには、Pandora FMS サーバを停止する必要があります。2 分ほどです。

注意: アップデートには管理者権限のユーザアカウントが必要です。アップデートの前に、Pandora FMS サーバとコンソールの接続が確保できていることを確認してください。

1. RPM 形式の "[Pandora FMS サーバ](#)" ダウンロードし、Pandora FMS サーバへ転送します。
2. RPM 形式の "[Pandora FMS エージェント](#)" をダウンロードし、Pandora FMS サーバへ転送します。
3. **Enterprise** 版を利用の場合は、サポートサイトからご利用のアーキテクチャに合った "**Pandora FMS Enterprise server**" の **TAR.GZ** ファイルをダウンロードし、Pandora FMS サーバへ転送します。
4. **Enterprise** 版を利用の場合は、サポートサイトから "**OUM 608**" をダウンロードし手元の PC に保存します(サーバへ転送する必要はありません)。
5. Pandora FMS サーバを停止します。 `:/etc/init.d/pandora_server stop`
6. ファイルを置いたフォルダで以下を実行します。
 - a. `cp -p /etc/pandora/pandora_server.conf /etc/pandora/pandora_server.conf.bkp`
 - b. `rpm -U --force pandorafms_server-6.0SP2-1.noarch.rpm`
 - c. `rpm -U --force pandorafms_agent_unix-6.0SP2-1.noarch.rpm`
7. **Enterprise** 版を利用の場合:
 - a. `tar -xvf pandorafms_server_enterprise_6.0SP2_<architecture>.tar.gz`
 - b. `cd pandora_server`
 - c. `./pandora_server_installer --install`
 - d. `mv -f /etc/pandora/pandora_server.conf.bkp /etc/pandora/pandora_server.conf`



- Pandora FMS コンソールで、左側のメニューの拡張(Extensions) -> アップデートマネージャ(Update Manager) へ行きます。:



- 右上のオフラインアップデートマネージャボタンをクリックします。
- “ブラウズしてください(Browse it)” をクリックし、ダウンロードしておいた “OUM 608” を選択します。アップロードが完了したら、“package_608.oum” をクリックし、インストールが完了するのを待ちます。完了するとフッターに表示されるバージョンが 6.0SP2 に変わります。
- Pandora FMS サーバを起動します。 `:/etc/init.d/pandora_server start`
- エージェントを再起動します。 `:/etc/init.d/pandora_agent_daemon restart`

日本国内向けのお問い合わせ先:



株式会社アールワークス

〒170-6016 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 16F



03-5911-2606 (平日 10:00~18:00)



<http://ms.rworks.jp>

rw-sales@rworks.jp

